

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健康やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	保健センター
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	基本事業	生活習慣病（がん・循環器疾患・糖尿病）対策の推進		事業実施主体	市
	事務事業	がん対策推進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	がんの早期発見・早期治療を図るため、集団・個別方式で各種がん検診を実施している。個別検診を行っている大腸がん・胃がん・子宮頸がん・乳がん・前立腺がん検診及び胃がん・肺がん集団検診の受診券を対象年齢の全市民に受診券として個人通知する。がん予防の普及啓発を図り、市民が受診しやすい環境を整備していく。また、働き盛り世代への受診啓発や女性の健康週間に合わせた啓発等を実施していく。				
3年度概要	<ul style="list-style-type: none"> がん予防の普及啓発 各種がん検診（胃、肺、大腸、子宮頸、乳、子宮、前立腺）の実施 がん検診受診勧奨（がん検診受診券の送付、未受診者への受診勧奨、精密検査未受診者に対する受診勧奨） 子宮頸がん予防ワクチン接種の実施 				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	4-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）

【事業の目的】

対象（何を）	がん検診の対象者
意図（どのような状態にしたいか）	がんの早期発見・早期治療に努め、がんによる死亡率の減少を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R 2
がん検診の受診券発送数	枚	1,004,643	1,018,350	1,019,174	1,001,503	1,001,503

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R 2
がん検診受診率	%	目標値	37.5	43.8	50	50	50
		実績値	10.4	10.2	10		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	<p>国の地域保健・健康増進事業報告におけるがん検診受診率の算出方法の変更に伴い、受診率が低下しており、目標達成が困難な状況である。</p> <p>(目標達成度)</p> <p>(達成度) 20.0%</p> <p>点</p>						
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	<p>(目標達成度)</p> <p>(達成度)</p>						

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]	382,012	375,243	385,393	387,823
（事業費）	[円]	338,831	333,514	343,802	346,232
（職員人件費）	[円]	43,181	41,729	41,591	41,591

【評価】

評価ランク (A～D)	D	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

国の受診率の算出方法が変更したことに伴い、受診率が低下しており、目標に達していない状況である。高松市民の健康づくりに関する調査（平成29年度）においては、20歳～69歳のがん検診受診率は54.5%であり、働く世代の受診率向上が課題である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

市民が受診しやすい環境づくりや、職域との連携など効果的な受診勧奨により、働く世代の検診受診率の向上に取り組む。

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	保健センター
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	基本事業	生活習慣病（がん・循環器疾患・糖尿病）対策の推進		事業実施主体	市
	事務事業	健康づくり推進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	40歳以上の市民が、健やかで、こころ豊かに暮らすことができるように、生活習慣病の予防及び早期発見・早期治療の促進、寝たきり防止等のため、自主健康管理意識の啓発を行うとともに、健康教育・健康相談・健康診査の成人の健康づくり事業を実施し、壮年期の死亡の減少、健康寿命の延伸、生活の質の向上を図る。		
3年度概要	各地区および保健センターにおいて、医師・歯科医師・保健師・歯科衛生士・栄養士等による健康教育・健康相談を実施する。40歳以上の対象者に健康診査（肝炎ウイルス検査、健康診査（医療保険非加入者、成人歯科健康診査））を実施する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	40歳以上の市民
意図（どのような状態にしたいか）	市民一人ひとりが主体的に健康づくりに努め、生活習慣病の予防・早期発見に取り組む。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
健康教育の開催回数	回	311	378	418	350	350
健康相談の実施回数	回	144	120	171	200	200

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
成果指標	健康教育の参加者数	人	目標値	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
	実績値	7,289	9,841	10,497				
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標値には達していないが、前年度よりも参加者数を増加させることができている。 （目標達成度）						（達成度） 75.0% 26点	
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標値の8割程度の参加者数となっている。 （目標達成度）						（達成度） 82.4% 28点	

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]	106,149	98,868	100,574	103,173
（事業費）	[円]	62,968	57,139	58,983	61,582
（職員人件費）	[円]	43,181	41,729	41,591	41,591

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
壮年期の参加者数の低迷や健康教室の開催場所の固定化が見られる。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
市民のニーズに対応した教室内容を検討し、より効果的な事業とする必要がある。			